



THE RECORD

2003.10
No. 527

Essay ~レコードと私~

渡辺 貞夫 (ジャズミュージシャン)

Special Feature

音楽の響く世界のために

2年目のRespect Our Musicキャンペーン、新たなステージへ

● 2003年度CDレンタル店実態調査

RIA
Recording Industry Association of Japan

社団法人 日本レコード協会

渡辺 貞夫

(ジャズミュージシャン)



渡辺 貞夫 (わたなべ さだお)

1933年栃木県宇都宮市生まれ。高校時代に映画「ブルースの誕生」を見てクラリネットを始め、18歳で上京後アルトサックスに転向。53年秋吉敏子のコージー・カルテットをはじめとして、数多くのグループやセッションに参加し、一躍脚光を浴びる。62年ボストンのパークリー音楽院に留学。65年に帰国後、日本のジャズシーンをリードするミュージシャンとして活躍しながら、後進の指導にもあたる。95年9月、母校のパークリー音楽院より名誉博士号を贈られ、同年11月には紫綬褒章を受章。また音楽活動以外にも、カメラマンや2005年に開催の愛知万博「政府出展事業総合監督」を務めるなど、幅広い活動を展開している。

表紙の楽器

シタール

インド伝統音楽を代表する古典弦楽器。実際に弾かれる主奏弦とフレットの下を通る共鳴弦によって、表現豊かな音色を奏でる。インド音楽特有の趣と美しい旋律、その即興的な演奏技法は世界中の芸術音楽に影響を与えている。

ある音楽評論家の方の話では、日本で最も多くアルバムをリリースしているソロプレーヤーは、どうも僕らしいんです。「渡辺貞夫」で検索すると、世の中に300枚以上のアルバムが存在すると言われました。

初のリーダーアルバム「渡辺貞夫」のレコーディングは、1961年8月15日でした。日本都市センターホールのステージ下手端にドラムス、中央にベース、そして僕は右端からスティックの動きを見ながら録音したのを鮮明に覚えています。それは当時始まったばかりのステレオ録音でした。

そのアルバムから今年リリースした「ホイール・オブ・ライフ」まで、リーダーアルバム64枚、共演アルバム96枚、そしてその他のコンピレーション等を含めると300枚以上になるという訳です。

僕はレコードの発展と進歩を目の当たりにしてきましたが、最近のレコーディング技術の進歩は諸刃の剣で「功罪」どちらもあるんじゃないかと思います。

まずは「罪」の方、近年はミキシングの進歩により、バランスを重視し、音を作り過ぎる傾向があるので、臨場感や空感が薄れてきた気がします。だから僕はカラーリングとしてシンセサイザーを使う事はあっても、オーバーダビングは殆どしません。しかも「Take1」が一番だと信じているので、特にリズムセクションとは一発録りが多いんです。

レコードの「功績」の方は、最近、若くて巧いJAZZプレーヤーが数多く出てきたことです。僕らの時代、ジャズは暗中模索の手探りで習得するものでした。今では「レコード」という先生を幾らでも選べるし、理論書も沢山あるので、僕の若い頃に比べたら技術的なレベルは問題にならないくらい向上しています。しかし巧いプレーヤーと良いプレーヤーとは違う。そこが難しいところなんですよ。

僕にとってレコードとは何か？と改めて考えてみると「郷愁を呼び戻してくれるもの、日々刺激をもらうもの、僕にとっての“歴史”でもあり、また色々な人の生きざまが見えてくる非常に面白いもの」だと思います。僕は毎週、自分のラジオ番組で紹介したいアーティストを探しているのですが、10枚のアルバムを買ってきて好きなアーティストが見つかるのは、そのうち1枚あるかないかです。技術の巧い下手ではない。売れているから良いとも限りません。自分にとって感動を与えてくれるレコードに巡り合うのは非常に難しいことです。だからこそ出会えた時の嬉しさは格別です。

企画・構成：木崎 徹

Contents

Special Feature

| | |
|---------------------------------|----|
| 音楽の響く世界のために | 2 |
| 音団協、「ありがとう」キャンペーン展開 | 5 |
| 音楽業界EDIの実現一下 | 6 |
| 2003年度CDレンタル店実態調査 | 7 |
| Topics & Information | 9 |
| World News Clip | 11 |
| Monthly Production Report | 12 |
| 今月の数字 | 13 |
| Gold Album+...認定 | 14 |

音楽の響く世界のために

Respect Our Music



音楽を正しく
聴いていますか。



リーフレット表紙

2年目のRespect Our Musicキャンペーン、 新たなステージへ

当協会では、昨年10月から不正コピー／不正アップロードへの対策として、Respect Our Musicキャンペーンを実施しています。音楽関連団体、アーティスト、販売店、会員社、メディアなど、数多くの関係者にご協力いただきながら、テレビCM、リーフレット、アーティスト連名のポスター・広告などを展開し、啓発を図ってきました。スタートして1年を迎え、「Love Music? Save Music!」のスローガンが認知されてきたという調査結果も現れています。これはサポートをいただいた多くの皆様方の音楽を守る熱意が引き出

したものと考えています。

不正コピー／不正アップロードは音楽文化の根底を揺るがす問題であり、それらへの対処は終わりなき闘いとも呼べるものです。お客様と双方向のコミュニケーションを図りながら、根気よく時間をかけて働きかけていく必要があります。当協会は、この11月より、Respect Our Musicキャンペーンをさらに拡大し、新しいスタートを切ることとしました。今回の特集で、その概要をご紹介します。私たちにできることは限られていますが、これからも関係者の皆様方のご支援を賜りながら、一人でも多くの人に理解していただき、音楽創造サイクルを広げる一助となるよう努めてまいります。



社団法人日本レコード協会
専務理事 田辺 攻



広がりと可能性を持ったキャンペーンへ

11月より拡大するRespect Our Musicキャンペーンでは、これまで以上に活動の場を広げて多彩なアプローチを行っていきます。音楽ファンから将来の音楽文化を担う子どもたちまでを含め、より多くの人たちに、音楽を正しく聴くことの大切さを訴えていくものです。

■ ベースは「理解していただくこと」

今回のキャンペーンは、不正コピー／不正アップロード問題への理解を求めることを基軸とします。学生を含む10～30歳代のCDリスナー／PCユーザーをコア・ターゲットにしながら、社会的意義からもあらゆる年齢層にアピール。多様なプロモーション活動を通じて、ロゴマーク化したスローガン、「Love Music? Save Music!」を前面に打ち出すと同時に、モラルに訴えてルールを明確に示すメッセージを届け、問題の認知度を高めて理解に導きます。

これまででは、マスコミやレコード販売店などの音楽業界のチャンネルをメインに展開してきましたが、学校など教育の場に活動範囲を広げて、早い段階からの認知と理解の促進に力を入れていきます。

また、何が違法かわからない層に対してソフトなメッセージを提供する一方、確信犯的に不正行為に手を染める人たちに向けては、警告に近い強いメッセージも用意。この2つのアプローチによって、不正コピー／不正アップロードに歯止めをかけていきたいと考えています。

■ 「継続性」「話題性」「連携」がキーワード

これまでの経験を踏まえて、今回は「継続性」「話題性」「連携」をキーワードに、相乗的に広がる活動を目指します。

●継続性

昨年からの活動で、このキャンペーンの認知度は高まっています。当協会が独自に実施した街頭及びWeb調査では、

76%の認知度がありました。この手ごたえを一過性のものとせず、より大きな流れにするべく、継続的な活動に取り組んでいきます。「Love Music? Save Music!」ロゴマークをキャンペーンの統一シンボルに掲げ、多様なメディアでの露出やロゴ入りステッカー配布などの草の根的な活動を展開し、浸透を図ります。すでに、この7月から9月まで、多様なイベント・コンサートの会場で合計20万枚近くのステッカーを配布し、観客の手にダイレクトに届くメッセージとして展開しました。今後も効果的な浸透へ向けて、特に学校や関連団体と連携した活動を中心に、継続的な取り組みを推進します。

●話題性

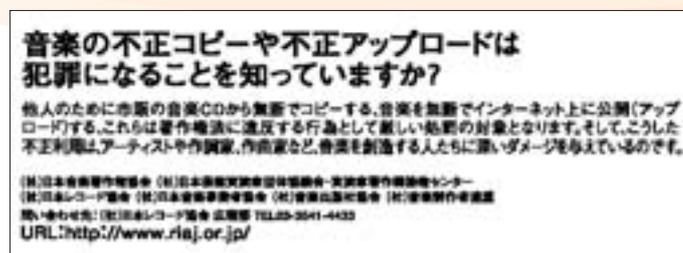
話題性のあるPR活動を行い、社会的な注目を集めることもキャンペーンの成功に欠かせない要素です。今年2月に発表したアーティストが連名で訴えるポスターは、大きな話題を呼びました。122名のアーティストに参加いただいたインパクトは予想以上で、テレビのワイドショーでも取り上げられるなど、さまざまな反響を引き起こしたのです。音楽専門紙誌の協力も効果的に作用しました。新しいキャンペーンでも、タイミングと媒体に配慮して、積極的な話題づくりをねらうPR活動を展開していきます。スタートとなる11月は学園祭シーズンでもあり、音楽に関連の深い文化の日も控えています。ここで話題性の高いPR活動を行い、キャンペーン全体を盛り上げたいと考えています。

●連携

本年度のキャンペーンは、音楽関連6団体で一致協力して展開していきます。また、会員社、レコード販売店との協力関係もより緊密にして、プロモーション活動、協賛イベントなどを通じてキャンペーンの活性化を図ります。各マスメディアにも意義を深くご理解いただき、協力を仰ぎます。不正コピー／不正アップロードは、音楽業界全体を揺るがす根の深い問題です。連携によってキャンペーン全体の推進力が何倍にも高められ、力強くアピールしていくことが可能となります。



ステッカー 表



ステッカー 裏

■ 特長を活かした各種ツールの展開

このキャンペーンのために準備するツールは、ロゴ・ステッカー、リーフレット、ポスターの3種。それぞれ独自の役割を持たせ、新聞・雑誌等のマスメディア、イベント・コンサート、Web、協力団体、学校、レコード販売店といった多様なチャンネルで効果的な活用を図ります。

ステッカーは、「Love Music? Save Music!」の認知度を高める役割を担い、イベント・コンサートなどで実績をあげています。親しみやすいチケット・サイズで配布しやすく、あらゆるイベントから小規模なプロモーションまで気軽に利用できます。

リーフレットでは、何が違法かを明確化するとともに、音楽創造に多くの人の気持ちや労力が込められていることを強調。不正行為が音楽文化の危機を招くことを伝えます。全体としてソフトな調子でモラルに訴えかけ、理解を促す内容となっています。CDジャケット・サイズでステッカー同様に親しみやすく、サイズの特長を活かした多彩なプロモーションが考えられます。本格的なキャンペーン展開に先立ち、10月から活動現場に導入していきます。またキャンペーン以外にも教育現場での活用も働きかけています。

一方、ポスターは認知度を高めるだけでなく、話題性を喚起する意見広告の要素を持ったツールとして活用します。音楽ファンにとって、アーティストのメッセージは非常に印象

深いものであり、音楽を正しく聴く大切さをよりリアルに感じていただけます。前回好評を博したアーティスト連名ポスターは、参加アーティストを増加するなどリニューアルした上で存続させます。加えて、警告に近い強いメッセージを伝えるものも用意し、インパクトのある2種類のポスターを使い分けて展開します。レ



今年2月に発表した
アーティスト連名ポスター

コード販売店からイベント・コンサート会場まで、あらゆる活動の場で露出を図るほか、広告として新聞や雑誌などにもタイミングを見て掲載していく考えです。11月から導入する予定です。

このほか、リーフレットで訴えた内容をビデオ化し、そこにアーティストからの生のコメントを入れることも計画しています。

■ 若い世代への積極的な働きかけ

今回のキャンペーンでは、次代の音楽文化を担う若い世代に対する働きかけを焦点の一つとしています。学生が主体的に行うイベントで、キャンペーンを取り上げてもらうなど、積極的にアプローチします。この8月に開催された「ヨコハマ・ハイスクール・ミュージックフェスティバル決戦大会」は、運営スタッフから観客まですべて高校生というイベントでした。本キャンペーンの主旨に共鳴したスタッフが、自発的にプロモーションビデオを用意し、イベント内で観客にアピールするというシーンもありました。これは理想的な成功例であり、画期的なものでした。こうした事例を増やせるように今後も学園祭などにアプローチしていきます。

また学校の放送部との連携を深め、日常的にキャンペーンを行う土台づくりにも力を注いでいます。このほか修学旅行生の職場訪問や、教育現場での活動なども含めて、学校を舞台とした草の根的な活動の確立を推進していきます。

当協会では、このキャンペーンを広がり可能性を持った活動として育んでいきたいと考えています。以上のほかにもゴールドディスク大賞との連動など、機を見て柔軟かつ多面的なプロジェクトを企画していきます。今後の具体的なメディア展開やPR活動については、本誌で随時ご紹介します。私たちの取り組みにご期待ください。



リーフレット 中面

音団協、「ありがとう」キャンペーン展開

9月号のTopics & Informationで紹介した音楽団体協議会「ありがとう」キャンペーンは、当協会もその主旨に賛同し、協力をしています。ここでは、キャンペーンの概要とともに、公共交通機関やレコード店で展開するポスターおよびフライヤーを紹介します。



B5サイズフライヤー(レコード店)



戸袋ステッカー広告(小田急電鉄)

概要

- 主催：** 日本音楽団体協議会
(社団法人音楽出版社協会、社団法人日本音楽事業者協会、社団法人音楽制作者連盟)
- 協力：** 社団法人日本レコード協会、日本レコード商業組合、(株)ヴァージン メガストアーズジャパン、HMVジャパン(株)、(株)新星堂、(株)すみや、TOWER RECORDS、TSUTAYA RECORDS、(株)山野楽器
- 期間：** 2003年9月1日から約1~2ヵ月
- キャラクター：** 星野哲郎氏、小室哲哉氏、GO! GO! 7188
- レコード店：** 日本レコード商業組合加盟各店他、協力レコード各店全国2,500店舗でフライヤー200万枚を配布
- 交通広告：** 京王両線(京王本線、井の頭線)窓上額面2,220枚、小田急線 戸袋ステッカー890枚
- インターネット：** ヤフー・ジャパンのミュージックサイトに特別掲載
- 雑誌：** 「オリジナル・コンフィデンス」9月1日、15日号にカラー1ページ広告掲載

このほか、コンサート会場でのポスター掲示、フライヤー配布などが行われています。

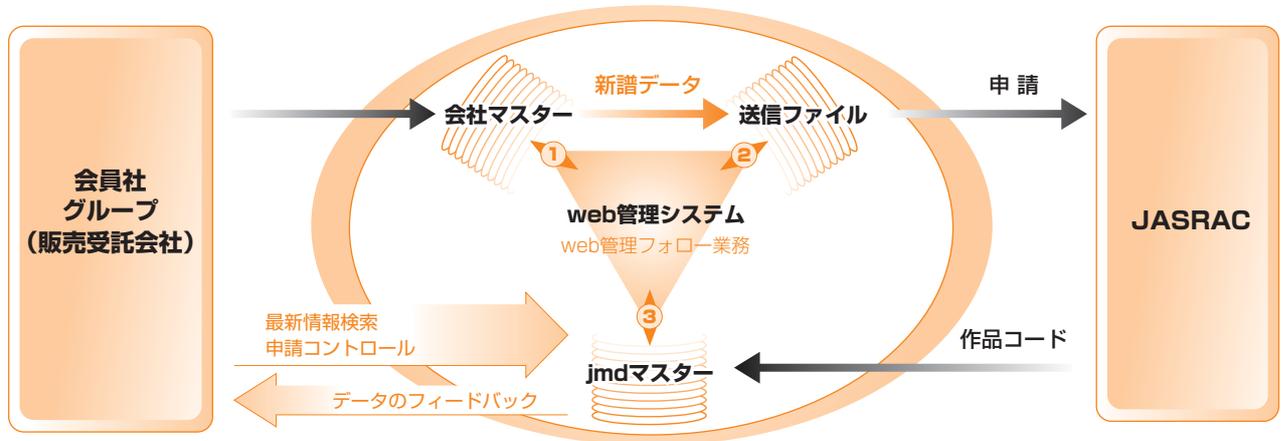


車内窓上額面広告(京王電鉄)

音楽業界EDIの実現 下

前号(9月号)ではレーベルコピー(編成表)の電子申請構想の経緯について説明しました。今回は今月から本格運用が始まったJASRAC-EDIシステムの概要・活用分野、今後の展開について報告します。

■ JASRAC-EDIシステム



システムの概要

レコード会社から新譜を発売するにあたり、JASRACに音楽作品の使用申請を行う必要があります。パッケージメディアの全情報を網羅したレーベルコピー(編成表)を、電子データ化し、レコード協会(運用はjmdに委託)に送信し、会社マスターとして蓄積します。その後、①レコード会社の申請業務担当者がjmdマスターの最新情報を確認し②申請コントロールされた情報が送信ファイルに蓄積されます。

JASRACへは週1回のタイミングで送信されます。申請の結果、作品コードが送信され、jmdマスターが更新されます。一方、レコード各社からは発売日前にサンプルCDが届きますので、既に蓄積されたjmdマスターの新譜情報との照合を行い、登録データの最終確認を行います。レコード会社は、③作品コードが更新された最新情報をjmdマスターから必要に応じて自社システムにダウンロードすることが可能です。

活用分野とポテンシャル

EDIで蓄積された質の高いメタデータは、既に全国のレコード店で活躍している店頭試聴機に使用されています。今後の新譜発売に応じて、情報のタイムリーな発信により、店頭でのサービスの幅が広がることになります。また、「e-Japan戦略」のもと総務省が推進しているコンテンツ流通促進やTV番組・ラジオ放送で使用される音楽の使用楽曲リスト報告、さらに放送番組の二次利用のための権利クリアランスなど、音楽コンテンツが使用されるあらゆる分野への活用が期待されています。

今後の拡大へ向けて

今月から始まる電子申請は、当面市販オーディオCDのみですが、今後は特販CD、さらにはDVDへとメディアを広げていく予定です。また会員レコード会社だけでなく販売受託会社への展開も推進していきます。

● 画期的なEDI申請のスタート

(社)日本音楽著作権協会 録音部長 沼村 宏一

将来的にはJASRACへの使用許諾申請の全てをEDI化することを視野に入れていますが、その第一段階として大手利用者が一斉にオーディオCDのEDI申請をスタートすることは画期的なことです。このEDI申請によって、JASRACの業務は、時間的にも労力的にも軽減されると予測されます。今後、各レコード会社からEDI申請されるカタログ数が増え、(新曲を除いて)作品コードの入力が進むことによって、双方にとって一層スピーディーな申請・許諾の実務処理が可能になります。このことはJASRACのみならず、各レコード会社にとっても有益なことだと考えています。

2003年度CDレンタル店実態調査

大型・複合型店舗の増加は継続、DVDレンタルが急成長

当協会では、全国のCDレンタル店の実態を把握するために、毎年全店調査を実施しています。20回目となる2003年は、4月から7月にかけて、当協会調査員による全国3,481店の訪店調査を行いました。

■ 店舗数は前年比4.0%減少

CDレンタル店舗数は89年末の6,213店をピークに毎年減少を続け、2003年7月末現在で3,472店と前年比4.0%減、89年対比で44%減となりました。

また、今年1月から7月までの間に、新規開業店は196店、閉店は296店と、492店が入り替わっています。(図1参照)

■ CDレンタル店の面積と兼業状況

店舗の大型化と複合化は今年も続いています。店舗全体の面積(他の売場を含む)を見ると1店当たり606.9m²(前年比7.2%増)、ビデオレンタルコーナーの面積は245.7m²(前年比6.8%増)、新品・中古CD販売、書籍、ゲームソフトの販売などその他コーナーが305.5m²(前年比9.2%増)となっています。一方でCDレンタルコーナーの面積(57.9m²)は、96年以降ほぼ横ばいになっています。(図2参照)

兼業の状況(複数回答による集計)を見ると、ビデオレンタルを兼業している店舗は全体の99.1%(前年98.8%)、DVDレンタル95.8%(前年83.2%)、中古CD販売96.8%(前年96.4%)、書籍販売48.0%(前年45.7%)、ゲームソフト販売48.0%(前年46.1%)、中古CD買取28.8%(前年16.2%)といずれも前年を上回り、特にDVDレンタル兼業率はこの年で12.6%伸び、ビデオレンタルの兼業率に近づいてきています。

一方でCDレンタル専門店が14店まで減少し、AVレンタル専門店(CDとビデオのレンタルのみ)も855店(全体の24.6%)まで減少しています。

■ レンタル店の在庫推移

レンタル用CDの総在庫数は、97年をピークに減少傾向にあり、シングル・アルバムを合わせて30,288千枚と前年比2.4%減になっています。内訳を見ると、シングルは22.3%減と大きく減り、アルバムは前年比6.3%増となっています。(図3(a)参照)

1店舗当たりの平均在庫数で見ると、シングルは前年比19.2%減、アルバムは10.5%増となり、シングル・アルバムの合計在庫数は8,701枚の1.5%増となっています。(図3(b)参照)

また、CDの在庫規模による店舗数分布を見ると、小型店(4千枚未満)は前年比1.1ポイント減の10.2%、中型店(在庫数4千枚～1万枚未満)は0.9ポイント増の57.0%、大型店(1万枚～1万5千枚)は0.1ポイント減の26.4%、超大型店(1万5千枚以上)は0.3ポイント増の6.4%となっています。(図3(c)参照)

ビデオレンタル兼業店のビデオテープの総在庫数は70,574千本(前年比2.8%増)、1店当たり平均20,468本(前年比6.6%増)と年々増加しています。

DVDレンタル兼業店のDVD総在庫数は6,424千枚(前年比96.8%増)、1店当たり平均1,927枚(前年比77.9%増)と急伸しています。調査を始めた2000年対比では、店舗数で2.3倍、総在庫数では12倍(1店舗当たりの平均在庫数で6.5倍)と、DVDレンタルが数年で急速に広まったことがわかります。

図1：CDレンタル店数と開業・閉店の推移

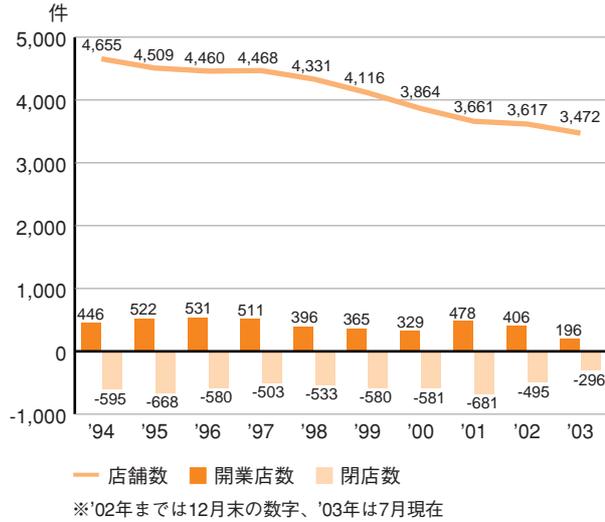


図2：店舗面積（1店舗平均）

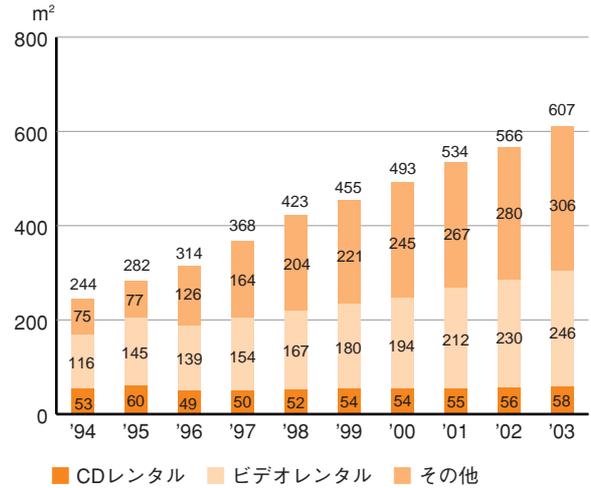
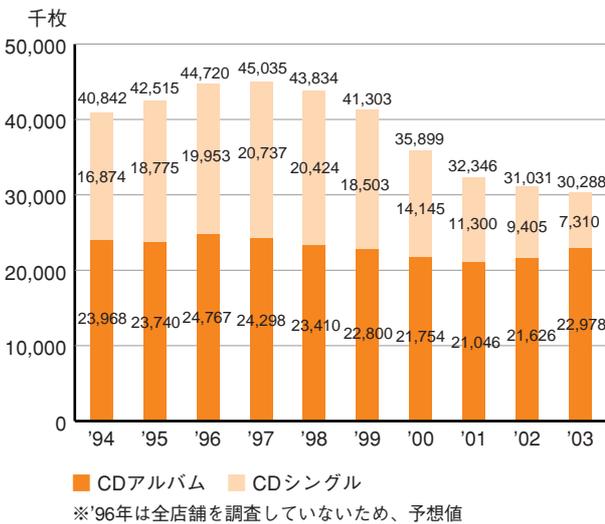
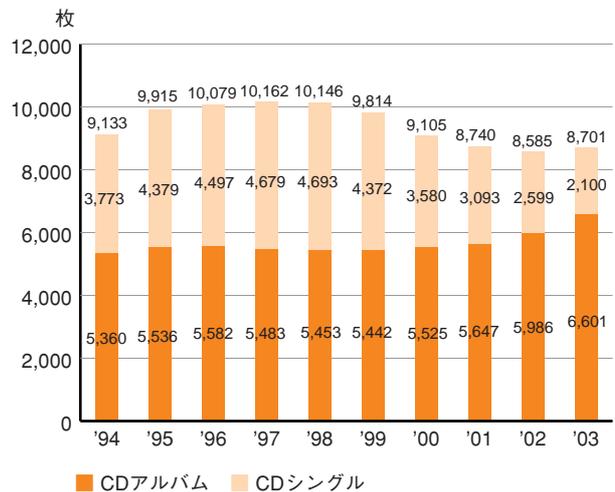


図3：CD在庫状況

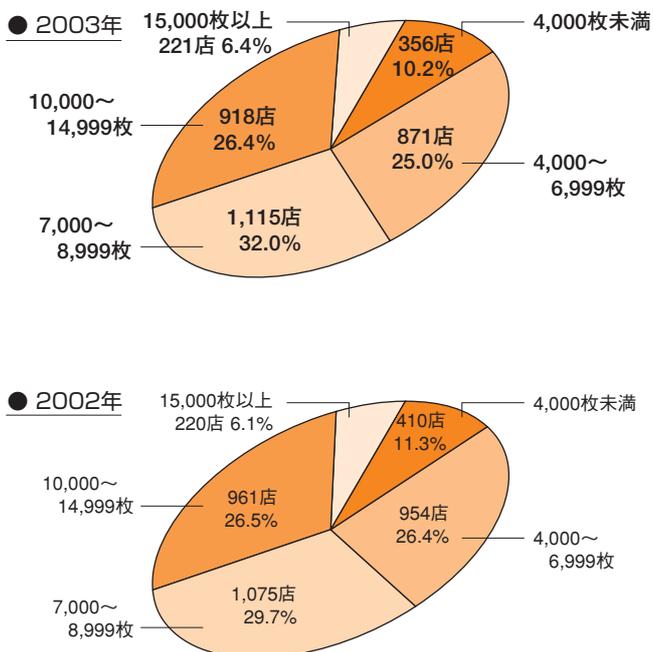
(a) 総在庫数



(b) 1店舗平均在庫数



(c) CD在庫規模別の店舗数分布状況



調査を終えて

今回は特にCDレンタルのシングルからアルバムへのシフト、DVDレンタルの成長がきわだっています。また、ここ数年の傾向である大手フランチャイズ店・大手チェーン店の伸展と小規模店・専門店の撤退による店舗の大型複合化、一方で店舗数の減少・総在庫枚数の減少等CDレンタル業を取り巻く環境が大きく変化していることがわかりました。

Topics & Information

「知的財産推進計画説明会」実施

9月19日、当協会会議室で「知的財産推進計画説明会」が行われました。

説明会には、内閣官房知的財産戦略推進事務局より甲野正道内閣参事官、安東高德参事官補佐、難波憲男主査、橋本真理子主査、原山康彦氏の列席を賜り、今年7月8日に公表された「知的財産の創造、保護及び活用に関する推進計画」の概要についてご説明いただきました。

コンテンツ産業の振興に関わる部分として、「知的財産の保護分野における模倣品・海賊版対策」及び「コンテンツビジネスの飛躍的拡大」等についての詳細な説明に引き続き、出席した各社執行委員から活発な質疑応答が行われました。



知的財産推進計画説明会の様子

「市民のための著作権講座～デジタル環境下における著作権制度～」開催(旭川)

2003年9月26日(金)、27日(土)の2日間、北海道旭川市大雪クリスタルホールにおいて、(社)著作権情報センター(CRIC)主催の「市民のための著作権講座～デジタル環境下における著作権制度～」が開催されました。

旭川市で初の開催となる今回は、7月の松山と同じく、著作権に関心のある一般市民を対象にした第1日目と、学校の先生等教育者向けの第2日目の2部構成で実施されました。

教育者向けに行われた27日の講座では、当協会広報部の今村担当部長により「デジタル時代における音楽CDの利用」についての説明および質疑応答が行われました。

次回の「市民のための著作権講座」は、10月24日(金)、石川県金沢市の石川県女性センターで開催される予定です。

「廃盤CD大ディスカウントフェア レコードファン感謝祭2003」ホームページ開設

先月号でお知らせした通り、2003年11月6日(木)から11月19日(水)までの2週間、「廃盤CD大ディスカウントフェア レコードファン感謝祭2003」が開催されます。

2001年からは、「全国」の音楽ファンの皆様からのご期待に応え、インターネットを利用した通信販売の形にて実施して

います。今年も10月1日から告知サイトを開設しました。10月21日からは、事前の商品閲覧とユーザー登録が可能です。皆様からのアクセスを心よりお待ちしております。

- 名称： 「廃盤CD大ディスカウントフェア レコードファン感謝祭2003」
- 開催日程： 2003年11月6日(木)～11月19日(水)
※商品のご注文は、11月6日(木)午前9時から開始させていただきます(先着順)。
- 主催： 社団法人日本レコード協会加盟メーカー24社
- 協賛： 社団法人日本レコード協会
- 運営： 株式会社 ジャパン ミュージック データ
- 出品： CD(8cm・12cm)、カセットテープ、ビデオ、アナログディスク
- 出品数： 4,000タイトル12万枚(予定)
- 販売価格： 廃盤：定価の70%OFF
※その他、輸入盤・時限再販期間経過商品を割引特価で販売。
- URL： <http://fair.jmd.ne.jp>
- お問い合わせ先：
株式会社 ジャパン ミュージック データ
E-mail : fair@jmd.ne.jp



IFPI、2002年世界レコード産業年鑑「the recording industry in numbers 2003」を発行

IFPIは9月9日、2002年の世界のレコード産業をまとめた年鑑「the recording industry in numbers 2003」を発行しました。

第10版となる本誌では、2002年の世界音楽マーケット分析の他、各国・地域について、フォーマット毎の売上データや国内外レパートリー比率等の詳しいデータが掲載されています。

当協会会員関連

— 社名変更 —

10月1日、パイオニアLDC株式会社は下記の通り社名変更を行いました。

新社名： ジェネオン エンタテインメント株式会社

英文表記： GENEON ENTERTAINMENT INC.

当協会、経団連に入会

我が国でも、音楽、ゲーム、映画・映像などのエンターテインメント・コンテンツ産業の国内市場規模が11兆円に達し、経団連の産業問題委員会の下にエンターテインメント・

コンテンツ産業部会(依田巽部会長)が設置されることとなりました。

これを受け、音楽産業の更なる発展に向け、当協会としても経団連への入会が重要であると判断し、9月16日、社団法人日本経済団体連合会に入会しました。

当協会新年会のお知らせ

平成16年の当協会新年会は、1月5日(月)午後4時より、ホテルニューオータニ「芙蓉」にて行われます。

● 2003年8・9月会議メモ

| | |
|------|------------|
| 8・8 | レコード倫理審査会 |
| 9・3 | マーケティング委員会 |
| 9・9 | 法制委員会 |
| 9・10 | レコード倫理審査会 |
| 9・11 | 広報委員会 |
| 9・12 | 情報・技術委員会 |
| 9・19 | 執行委員会 |
| 9・27 | 理事会 |

韓国、日本大衆文化の第4次開放へ —日本語歌詞の音楽CDなどが対象

2003年9月16日、韓国の文化観光省は、日本語の音楽CD販売の解禁などを柱とする日本大衆文化の第4次開放を2004年1月から実施することを発表しました。具体的な内容については、年末までに韓国内の各産業界への影響を考慮して細目が決定される予定ですが、テレビ番組やアニメーション以外の音楽、映画、ゲームの各分野は全面的な開放となります。

韓国は過去の経緯から、長く日本の大衆文化の自国への流入を規制してきましたが、98年から2000年まで、約1年ごとに順次日本の大衆文化の開放を行ってきました。ワールドカップの共催などを通じて民間交流がより活発化するなかで、2003年6月には、追加開放の実施などを盛り込んだ日韓共同声明が出されていました。今回の決定はこれを受けたものです。

日本のレコード産業にとっては前向きな決定であり、新たな市場として韓国がクローズアップされることとなりました。

これまでの韓国政府による日本文化開放政策

1. 第1次開放(98年10月20日)

● 映画及びビデオ

- ・日韓共同製作作品、4大国際映画祭(カンヌ、ベニス、ベルリン、アカデミー)受賞作品を開放。
- ・ビデオは劇場で公開されたものにつき開放

● 出版

- ・日本語版出版漫画及び漫画雑誌を開放

2. 第2次開放(99年9月10日)

● 映画及びビデオ

- ・劇場用アニメを除く映画の大幅開放(70大映画祭入賞作、もしくは、年齢制限のない作品(「全体観覧可」に分類される作品)を開放)

- ・ビデオは劇場で公開されたものにつき開放

● 歌謡公演

- ・2,000席以下の室内公演場での歌謡公演を開放(但し、公演の実況放送、レコードやビデオの販売は不可)

3. 第3次開放(2000年6月27日)

● 映画及びビデオ

- ・「18歳未満観覧不可」の作品以外は全て開放(劇場用アニメ除く)

- ・国際映画祭で受賞した劇場用アニメを開放

- ・ビデオは劇場で公開されたものにつき開放

● 歌謡公演、レコード

- ・歌謡公演は、室内外の区別なく全面開放

- ・レコードは、日本語による歌以外(演奏のみ、第三国語・韓国語翻訳による)を開放

● ゲームソフト

- ・ゲーム機用テレビゲームソフト以外のゲームソフト(パソコンゲーム、オンラインゲーム、ゲームセンター用のゲーム等)を開放

● 放送

- ・すべての放送媒体によるスポーツ、ドキュメンタリー、報道番組の放送を開放

- ・映画のテレビ放映については、ケーブル・テレビ、衛星放送において第二次開放の基準を満たす劇場公開された作品を開放

RIAAが2003年上半期の正味出荷実績を発表

不正コピー・不正アップロードが市場縮小の元凶

RIAA (米国レコード協会) は2003年8月29日、今年上半期(1月～6月)における音楽関連商品の小売店への正味出荷が、数量で10%減、金額(USドル)では9%減(共に前年同期比)であったことを発表しました。減少の主な原因は、ファイル交換による不正アップロードやCD-R等への不正コピーによるものと考えられます。

RIAA代表のキャリー・シャーマン氏は、次のように語っています。「確かに店舗数の減少など他にも出荷減の要因はありますが、違法なファイル交換が依然としてCDの売り上げに影響を及ぼしていることは明らかです。合法の音楽配信を行おうとする音楽業界の取り組みも、違法なファイル交換によって妨げられてしまっているのです」

RIAAでは、このような海賊行為によるレコード産業への脅威に対抗するため、「音楽を盗む」行為に対して、一連の取り組みを継続的に展開しています。最近ではその一環として、ファイル交換サービスを利用して違法に音楽ファイル交換を行う個人ユーザーの告訴も検討しています。(注：現地時間9月8日に告訴が提起されました)

音楽業界では、オンライン上で権利者の許諾なしに音楽ファイル交換を行うことの違法性を、一般の人々に訴えてきました。また大手のレコード会社では、違法ファイル交換に取って代わるものとして、合法かつ高音質で手頃な価格の音楽配信サービスを数多く展開し、カタログ数の拡大に努めています。

「音楽ファンが合法的にかつ手軽にオンラインで音楽を入手する方法は、週を追うごとに増えています。また、下半期には若手や人気アーティストの魅力的なリリースも予定されています」とシャーマン氏はコメントしています。

下半期には、ブラック・レベル・モーターサイクル・クラブ、メアリー・J. ブライジ、デヴィッド・ボウイ、ミッシェル・エリ奥特、フューエル、アリシア・キーズ、リュダクリス、ジョン・メイヤー、マルチナ・マクブライド、サラ・マクララン、P.O.D、イギー・ポップ、ボニー・レイット、シール、スティングといったそうそうたるアーティストたちが、ニューアルバムのリリースを控えています。

プライスウォーターハウス・クーパーズLLP社によると、2003年上半期における小売市場へのCD出荷は、冒頭にあるとおり約10%減少しましたが、小売、直接販売、特別販売も含めたCD出荷減少の割合は、15.3%にも達しています。昨年同期のCD出荷が、前々期より7%減少したのに引き続き落ち込みを示しています。

米国の音楽レコード総出荷は、数量で2002年上半期の398.5百万枚・巻から今年上半期の335.6百万枚・巻の15.8%減、金額では55億USドルから48億USドルの12%減となりました。(2003.8.29)

● 2003年上半期正味出荷実績

(単位:百万)

| 種類 | 2003年(1月～6月) | | | | 2002年(1月～6月) | | | | 前年同期比 | | | |
|----------|--------------|----------|-------|----------|--------------|---------|-------|---------|--------|--------|--------|--------|
| | 小売数量 | 小売金額 | 総出荷数量 | 出荷金額 | 小売数量 | 小売金額 | 総出荷数量 | 出荷金額 | 小売数量 | 小売金額 | 総出荷数量 | 出荷金額 |
| CD | 245.3 | 4,245.6 | 312.6 | 4,623.1 | 271.6 | 4,672.2 | 369.1 | 5,243.9 | -9.8% | -9.1% | -15.3% | -11.8% |
| カセットテープ | 6.6 | 47.5 | 8.1 | 51.2 | 11.7 | 94.7 | 16.7 | 112.0 | -43.3% | -49.8% | -51.2% | -54.3% |
| LP/EP | 0.6 | 9.5 | 0.7 | 9.8 | 0.9 | 12.7 | 1.2 | 13.5 | -26.7% | -25.2% | -40.2% | -27.6% |
| シングルCD | 5.8 | 24.2 | 5.8 | 24.2 | 2.2 | 8.9 | 2.2 | 8.9 | 162.4% | 173.5% | 162.4% | 173.5% |
| シングルレコード | 1.9 | 10.8 | 1.9 | 10.8 | 2.3 | 12.7 | 2.3 | 12.7 | -15.6% | -15.2% | -15.6% | -15.2% |
| ビデオテープ | 0.5 | 6.8 | 0.7 | 8.6 | 2.0 | 25.5 | 2.1 | 26.9 | -75.6% | -73.4% | -65.0% | -68.0% |
| DVD | 5.6 | 133.5 | 5.6 | 133.5 | 4.6 | 105.8 | 4.6 | 105.8 | 19.4% | 26.2% | 19.4% | 26.2% |
| DVDオーディオ | 0.1 | 2.3 | 0.1 | 2.3 | 0.2 | 5.4 | 0.2 | 5.4 | -49.0% | -56.3% | -49.0% | -56.3% |
| 合計 | 266.4 | 4,480.36 | 335.6 | 4,863.65 | 295.5 | 4,937.9 | 398.5 | 5,529.0 | -9.8% | -9.3% | -15.8% | -12.0% |

Monthly Production Report

2003年8月度レコード生産実績

8月度のオーディオ生産は、CDシングルが数量で前年同月比126%の770万枚、金額で前年同月比109%の50億円と、数量・金額共に前年同月比を上回りましたが、CDアルバムが数量で前年同月比86%の1,482万枚、金額で前年同月比84%の214億円となりました。この結果オーディオレコード全体では、数量で前年同月比96%の2,367万枚、金額で前年同月比88%の275億円となりました。

● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

| | | | 8月実績 | | | | | | 2003年(1月~8月)累計 | | | | | |
|------------------|--------|--------|-------|-------|-----------|-------|-------|-----------|----------------|------|-----------|--------|------|-----------|
| | | | 数量 | 構成比 | 前年 同月比 | 金額 | 構成比 | 前年 同月比 | 数量 | 構成比 | 前年 同期比 | 金額 | 構成比 | 前年 同期比 |
| シ ン グ ル | 8cmCD | 邦 | 940 | 4 | 144% | 179 | 1 | 50% | 8,911 | 4 | 173% | 2,004 | 1 | 75% |
| | | 洋 | 336 | 1 | 142479% | 24 | 0 | 46418% | 340 | 0 | 1447% | 25 | 0 | 416% |
| | | 計 | 1,276 | 5 | 196% | 203 | 1 | 57% | 9,251 | 5 | 179% | 2,029 | 1 | 76% |
| | 12cmCD | 邦 | 6,372 | 27 | 118% | 4,787 | 17 | 114% | 46,558 | 23 | 87% | 35,432 | 14 | 86% |
| | | 洋 | 53 | 0 | 62% | 42 | 0 | 57% | 711 | 0 | 68% | 595 | 0 | 77% |
| | | 計 | 6,425 | 27 | 117% | 4,829 | 18 | 113% | 47,269 | 23 | 86% | 36,027 | 14 | 86% |
| 小計 | 邦 | 7,312 | 31 | 121% | 4,966 | 18 | 109% | 55,469 | 27 | 94% | 37,435 | 15 | 86% | |
| | 洋 | 389 | 2 | 452% | 66 | 0 | 89% | 1,051 | 1 | 98% | 621 | 0 | 79% | |
| | 計 | 7,701 | 33 | 126% | 5,032 | 18 | 109% | 56,521 | 28 | 94% | 38,056 | 15 | 86% | |
| 12cmCD アルバム | 邦 | 10,015 | 42 | 90% | 14,954 | 54 | 90% | 93,190 | 46 | 87% | 136,656 | 55 | 82% | |
| | 洋 | 4,802 | 20 | 79% | 6,429 | 23 | 72% | 46,218 | 23 | 96% | 67,942 | 27 | 99% | |
| | 計 | 14,817 | 63 | 86% | 21,383 | 78 | 84% | 139,408 | 68 | 90% | 204,598 | 82 | 87% | |
| CD 合計 | 邦 | 17,327 | 73 | 101% | 19,919 | 73 | 94% | 148,659 | 73 | 90% | 174,091 | 70 | 83% | |
| | 洋 | 5,191 | 22 | 84% | 6,495 | 24 | 73% | 47,269 | 23 | 96% | 68,562 | 27 | 99% | |
| | 計 | 22,518 | 95 | 96% | 26,414 | 96 | 88% | 195,928 | 96 | 91% | 242,653 | 97 | 87% | |
| アナログ ディスク | 邦 | 22 | 0 | 29% | 20 | 0 | 28% | 321 | 0 | 81% | 348 | 0 | 78% | |
| | 洋 | 7 | 0 | 66% | 9 | 0 | 69% | 59 | 0 | 69% | 65 | 0 | 71% | |
| | 計 | 29 | 0 | 33% | 29 | 0 | 34% | 380 | 0 | 79% | 413 | 0 | 77% | |
| カセット テープ | 邦 | 1,002 | 4 | 99% | 865 | 3 | 111% | 7,925 | 4 | 93% | 6,459 | 3 | 97% | |
| | 洋 | 3 | 0 | 130% | 2 | 0 | 87% | 17 | 0 | 37% | 13 | 0 | 31% | |
| | 計 | 1,005 | 4 | 99% | 866 | 3 | 111% | 7,942 | 4 | 93% | 6,472 | 3 | 97% | |
| その他 | 邦 | 4 | 0 | 5% | 5 | 0 | 19% | 220 | 0 | 33% | 160 | 0 | 114% | |
| | 洋 | 115 | 0 | 1780% | 160 | 1 | 1000% | 274 | 0 | 521% | 439 | 0 | 444% | |
| | 計 | 119 | 1 | 134% | 165 | 1 | 390% | 493 | 0 | 69% | 599 | 0 | 250% | |
| 総合計 | 邦 | 18,355 | 78 | 100% | 20,809 | 76 | 94% | 157,124 | 77 | 90% | 181,058 | 72 | 84% | |
| | 洋 | 5,316 | 22 | 86% | 6,665 | 24 | 74% | 47,619 | 23 | 97% | 69,079 | 28 | 99% | |
| | 計 | 23,671 | 100 | 96% | 27,474 | 100 | 88% | 204,743 | 100 | 91% | 250,136 | 100 | 87% | |

● 音楽ビデオ

| | 8月実績 | | | | | | 2003年(1月~8月)累計 | | | | | |
|--------|-------|-----|-----------|-------|-----|-----------|----------------|-----|-----------|--------|-----|-----------|
| | 数量 | 構成比 | 前年 同月比 | 金額 | 構成比 | 前年 同月比 | 数量 | 構成比 | 前年 同期比 | 金額 | 構成比 | 前年 同期比 |
| DVD | 1,669 | 93 | 244% | 3,002 | 92 | 160% | 15,552 | 90 | 273% | 28,317 | 87 | 188% |
| LD・その他 | 62 | 3 | 57% | 103 | 3 | 62% | 684 | 4 | 76% | 1,230 | 4 | 66% |
| テープ | 66 | 4 | 49% | 153 | 5 | 42% | 1,024 | 6 | 68% | 2,869 | 9 | 74% |
| 合計 | 1,796 | 100 | 193% | 3,258 | 100 | 136% | 17,260 | 100 | 213% | 32,417 | 100 | 156% |

● オーディオ/音楽ビデオ合計

| | 8月実績 | | | | | | 2003年(1月~8月)累計 | | | | | |
|-------|--------|-----|-----------|--------|-----|-----------|----------------|-----|-----------|---------|-----|-----------|
| | 数量 | 構成比 | 前年 同月比 | 金額 | 構成比 | 前年 同月比 | 数量 | 構成比 | 前年 同期比 | 金額 | 構成比 | 前年 同期比 |
| オーディオ | 23,671 | 93 | 96% | 27,474 | 89 | 88% | 204,743 | 92 | 91% | 250,136 | 89 | 87% |
| 音楽ビデオ | 1,796 | 7 | 193% | 3,258 | 11 | 136% | 17,260 | 8 | 213% | 32,417 | 11 | 156% |
| 合計 | 25,468 | 100 | 100% | 30,732 | 100 | 92% | 222,003 | 100 | 96% | 282,553 | 100 | 92% |

● ビデオ

| | 8月実績 | | | | | | 2003年(1月~8月)累計 | | | | | |
|--------|-------|-----|-----------|--------|-----|-----------|----------------|-----|-----------|---------|-----|-----------|
| | 数量 | 構成比 | 前年 同月比 | 金額 | 構成比 | 前年 同月比 | 数量 | 構成比 | 前年 同期比 | 金額 | 構成比 | 前年 同期比 |
| DVD | 7,759 | 89 | 259% | 9,690 | 79 | 173% | 58,283 | 89 | 192% | 81,269 | 76 | 164% |
| LD・その他 | 83 | 1 | 59% | 117 | 1 | 64% | 936 | 1 | 73% | 1,440 | 1 | 64% |
| テープ | 840 | 10 | 94% | 2,537 | 21 | 82% | 6,611 | 10 | 88% | 24,805 | 23 | 93% |
| 合計 | 8,682 | 100 | 215% | 12,344 | 100 | 139% | 65,830 | 100 | 168% | 107,514 | 100 | 137% |

● オーディオ/ビデオ合計

| | 8月実績 | | | | | | 2003年(1月~8月)累計 | | | | | |
|-------|--------|-----|-----------|--------|-----|-----------|----------------|-----|-----------|---------|-----|-----------|
| | 数量 | 構成比 | 前年 同月比 | 金額 | 構成比 | 前年 同月比 | 数量 | 構成比 | 前年 同期比 | 金額 | 構成比 | 前年 同期比 |
| オーディオ | 23,671 | 73 | 96% | 27,474 | 69 | 88% | 204,743 | 76 | 91% | 250,136 | 70 | 87% |
| ビデオ | 8,682 | 27 | 215% | 12,344 | 31 | 139% | 65,830 | 24 | 168% | 107,514 | 30 | 137% |
| 合計 | 32,353 | 100 | 113% | 39,818 | 100 | 100% | 270,573 | 100 | 103% | 357,650 | 100 | 98% |

備考 1. 上記実績は、会員会社「24社」の集計である。当会員会社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
※オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

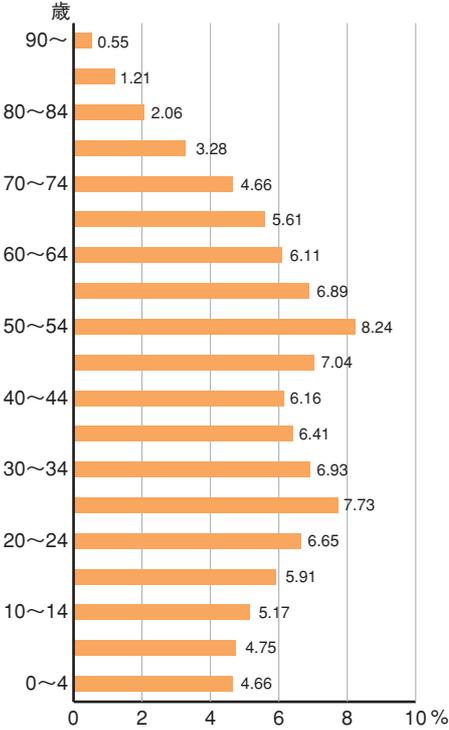
年齢階級別人口の将来動向

2000年の国勢調査によると日本の総人口は、1億2,693万人でした。この総人口は今後も緩やかに増加し、2006年に1億2,774万人でピークに達し、以後長期の人口減少過程に入ると予想されています。

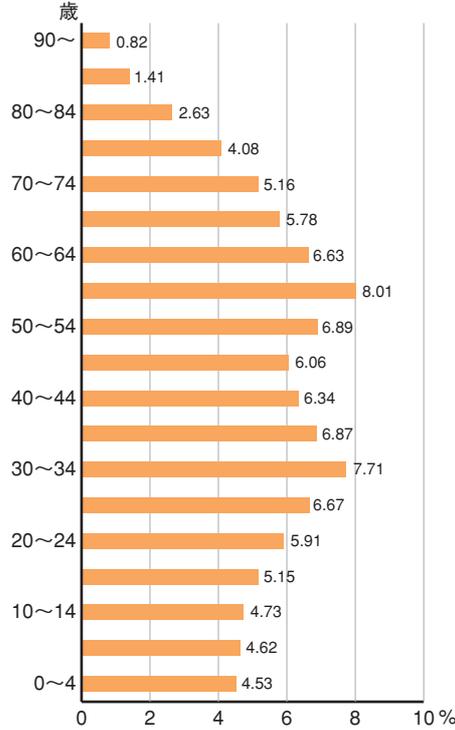
現在のレコード購入層の中心である若者人口も「10～29歳の人口変化」が示す通り、減少を続けていくものと予想されます。

●年齢階級別人口の将来動向

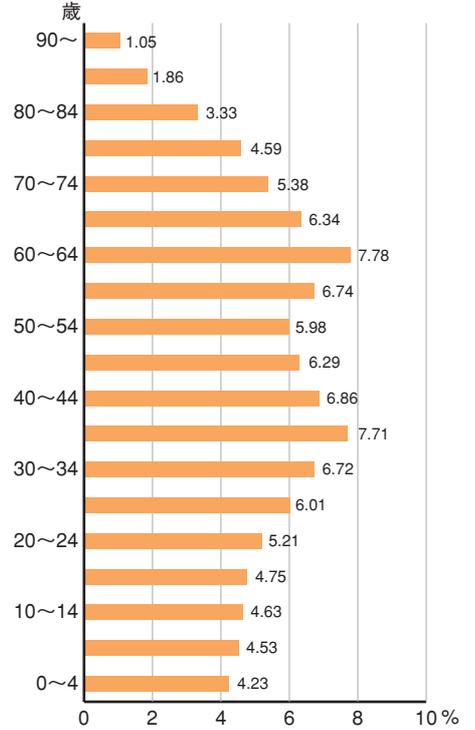
■2000年 126,926千人



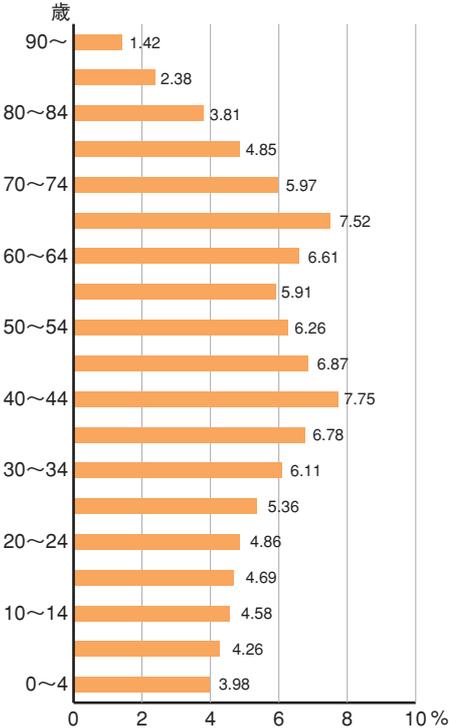
■2005年 127,708千人



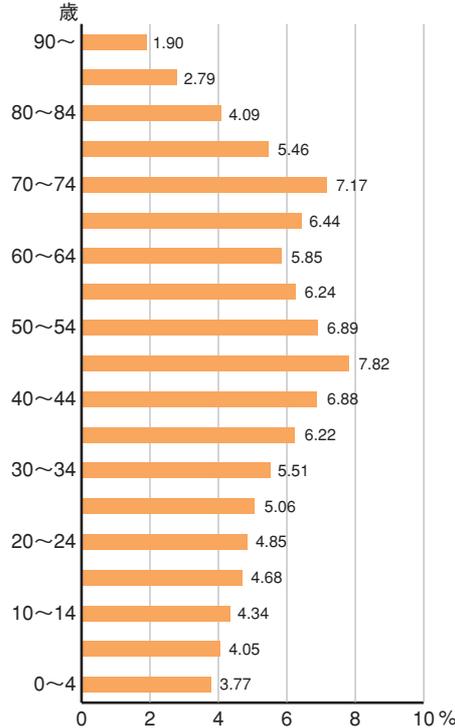
■2010年 127,473千人



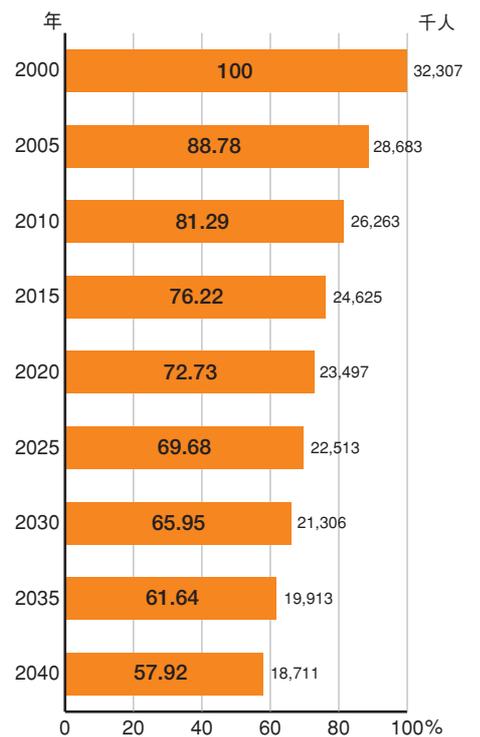
■2015年 126,266千人



■2020年 124,107千人



●10～29歳の人口変化



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」

注：棒グラフ内の数値は2000年を100とした時の数値

Gold Album +... 認定

2003年8月度

8月度ゴールドアルバム等認定では、邦楽シングルで、サザンオールスターズ「涙の海で抱かれたい～SEA OF LOVE～」がトリプル・プラチナ(75万枚)を、福山雅治「虹/ひまわり/それがすべてさ」がダブル・プラチナ(50万枚)を達成しました。

■ 邦楽

アルバム

● プラチナ

| | | | |
|--------------------------|------|------------|-----|
| MAGNUM COLLECTION "SLOW" | 福山雅治 | 2003.08.27 | BMG |
|--------------------------|------|------------|-----|

● ゴールド

| | | | |
|--|------------|------------|-----|
| RINA AIUCHI REMIXES Cool City Production vol.5 | 愛内里菜 | 2003.07.30 | GZ |
| GATE-scena III- | 島谷ひとみ | 2003.08.06 | AVT |
| SOUL'd OUT | SOUL'd OUT | 2003.08.27 | SE |
| ノマド・ソウル | 元ちとせ | 2003.09.03 | ES |
| ACROSS THE ENDING | HAWAIIAN 6 | 2003.08.06 | PAR |
| Follow THE WINDOW | 氷室京介 | 2003.08.20 | TO |
| ∞ INFINITY～LOVE & LIFE～ | V6 | 2003.08.06 | AVT |
| Next World | BoA | 2003.08.27 | AVT |
| ONE PIECE BEST ALBUM ～ワンピース主題歌集～ | V.A. | 2003.07.30 | AVT |
| 大阪ソウルバラード | V.A. | 2003.08.21 | V |

シングル

● トリプル・プラチナ

| | | | |
|------------------------|------------|------------|---|
| 涙の海で抱かれたい～SEA OF LOVE～ | サザンオールスターズ | 2003.07.23 | V |
|------------------------|------------|------------|---|

● ダブル・プラチナ

| | | | |
|----------------|------|------------|----|
| 虹/ひまわり/それがすべてさ | 福山雅治 | 2003.08.27 | UM |
|----------------|------|------------|----|

● プラチナ

| | | | |
|-------------|-------|------------|-----|
| Believe | 玉置成実 | 2003.04.23 | SR |
| forgiveness | 浜崎あゆみ | 2003.08.20 | AVT |

● ゴールド

| | | | |
|-------------------|---------------------------------|------------|-----|
| ふたつ星 | I WISH | 2003.08.27 | SE |
| アンドロメダ | aiko | 2003.08.06 | PC |
| 22歳の私 | 安倍なつみ | 2003.08.13 | PC |
| Love is message | w-inds. | 2003.08.20 | PC |
| Beautiful Fighter | 鬼束ちひろ | 2003.08.20 | TO |
| 太陽 | ケツメイシ | 2003.08.20 | TF |
| アシタヘカエル/Us | CHEMISTRY | 2003.08.06 | DF |
| 死ぬほどあなたが好きだから | 時給800円 | 2003.07.23 | C |
| Perseus -ベルセウス- | 島谷ひとみ | 2003.07.16 | AVT |
| Be My Love | SPEED | 2003.08.27 | AVT |
| 異邦人 | TAK MATSUMOTO featuring ZARD | 2003.08.27 | BM |
| DAY STAR | day after tomorrow | 2003.07.24 | AVT |
| いつか風になる日 | 元ちとせ | 2003.08.13 | ES |
| 音のない森 | ボルノグラフィティ | 2003.08.06 | SE |
| 心ひとつ | MISIA | 2003.08.27 | AVT |
| 夏の終わり | 森山直太郎 | 2003.08.20 | UM |
| Are you alive? | LIV | 2003.08.06 | UM |

■ 洋楽

アルバム

● プラチナ

| | | | |
|-----------|-----------|------------|----|
| ステイシー・オリコ | ステイシー・オリコ | 2003.08.06 | TO |
|-----------|-----------|------------|----|

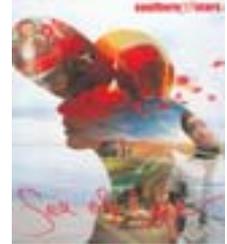
● ゴールド

| | | | |
|---|----------------|------------|-----|
| ヤング・アンド・ホープレス | Good Charlotte | 2003.02.05 | SI |
| DISCO FINE -PWL HITS and Super Euro Trax- | VARIOUS | 2003.07.23 | BMG |

※AI:ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ/AVT:エイベックス/BG:ビーグラムレコーズ/BM:バーミリオンレコード/BMG:BMGファンハウス/C:コロムビアミュージックエンタテインメント/CL:クライマックスエンタテインメント/CR:日本クラウン/DF:デフスターレコーズ/EP:ゼティマ/ES:EPICレコードジャパン/FL:フォーライフミュージックエンタテイメント/GZ:ギザ/JA:ジェイ・ストーム/JE:ジャニーズ・エンタテイメント/K:キングレコード/KS:キューンレコード/PAR:プライエイド・レコーズ/PC:ポニーキャニオン/PK:ピッコロタウン/SE:エスエムイーレコーズ/SI:ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル/SN:SENHA & CO./SR:ソニー・ミュージックレコーズ/TE:テイチクエンタテインメント/TF:トイズファクトリー/TJC:徳間ジャパンコミュニケーションズ/TO:東芝EMI/UM:ユニバーサルミュージック/V:ビクターエンタテインメント/WJ:ワーナーミュージック・ジャパン/XL:アンリミテッドグループ/YR:アール・アンド・シー・ジャパン



MAGNUM COLLECTION "SLOW"/
福山雅治



涙の海で抱かれたい～SEA OF LOVE～/
サザンオールスターズ



虹/ひまわり/それがすべてさ/
福山雅治



Believe/玉置成実



forgiveness/浜崎あゆみ



ステイシー・オリコ/
ステイシー・オリコ

※プラチナ(25万枚)以上の認定を受けた作品のジャケット写真を紹介します。

協会からのお知らせ

Topics & Informationでもご紹介しましたが、今年も11月6日から、インターネットを利用した「廃盤CD大ディスカウントフェア レコードファン感謝祭2003」が開催されます。10月21日からは下記ホームページで、事前の商品閲覧とユーザー登録が可能です。是非アクセスしてみてください。

<http://fair.jmd.ne.jp>



Respect Our Music

THE RECORD No.527 2003年10月号
社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 依田 巽
編集人 田辺 攻
発行日 2003年10月10日
発行 社団法人 日本レコード協会
〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-3 日鐵木挽ビル2F
TEL. 03-3541-4411(代) FAX. 03-3541-4460(代)
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフピーアイ・コミュニケーションズ

編集後記

ジャズ好きの友人にならって、最近ジャズを聴き始めました。まだ知らないことばかりですが、今年は「食欲」プラス「音楽」の秋になりそうです。

(R.O)